ぺんぎん12月号

友達との関わりを求めて同じ遊びをしてみたり、遊びに誘ってみたりする姿がたくさん見られています。１２月も友達と一緒に散歩へ行ったり、サーキットをしたりして身体をいっぱい動かしたいと思います。そして、クリスマスへの期待が持てるようにアドベントカレンダーを毎日めくりながら過ごしていきたいと思います。お家でも「今日はアドベントカレンダーなんだった？」と話を聞いてみてください（＾＾）

４ 歳児と一緒に東難波公園(園ではぞうさん公園と呼んでいます)に行きました。長距離散歩でしたが、しっかり歩く姿を見て体力がついてきたんだなと嬉しかったです。滑り台やブランコでたくさん遊びました★

自分だけの散歩バックを持って秋探しへ☆芝生公園入口のシャリンバイの実やナンテンの実を採ったり、落ち葉の絨毯の上を歩いて落ち葉を投げてみたり。秋をたくさん感じました。

マクドナルドごっこの手作り玩具が仲間入り。メニューを見ながら「どれがいいですか？」と店員さんになりきってつくってくれます。注文した品がなかなか届かないこともしばしば…(笑)かわいい店員さんがたくさんいますよ！

25 日(金)は収穫感謝礼拝でした。収穫感謝祭についてのお話を聞き、みんなが楽しみにしていたクッキングをしました。しめじをかさだけちぎってみたり、玉ねぎの皮は白いところもむいてみたり…横の友達の様子を気にかけながら楽しんでいましたよ。その後は感謝の気持ちで、保護者の方が持ってきて下さった果物や野菜をいただきました。ご協力ありがとうございました！！

「おいもほりやで！」

「よいしょよいしょ」と言って砂をよけ始めたＳくんとＨくん。何をしているのかな？？

土の中に石が埋まっていて、それを取り出そうと砂をよけているようでした。

そこへＲくんが「なにしてんの？」と二人に聞くと、「おいもほりやで」と答える二人。
よく見ると土の中から出ている石が、畑の土から少しでてきているお芋にそっくり。お芋ほりを思い出して、石をお芋に見立てていたようです。上手に再現遊びをしていて驚きました。
再現遊びやごっこ遊びを友だちと一緒にする為には“共通のイメージを持つ”という力が必要になります。お芋ほりでの共通の体験があり、イメージを共有することができたのだと思います。

芋ほり遠足を経験して…

10 月下旬、バスに乗って芋ほり遠足に行ってきたぺんぎんさん。みんなでバスに乗ったこと、大きなお芋が掘れたこと、とても楽しかったようでその経験が遊びに出てきました。

椅子を並べて、荷物を持って、芋ほり遠足ごっこをしています。
先頭の R ちゃんは運転手役で、手に持っているのはお皿ですが、これをハンドルに見立てています。

後ろに座る Mi ちゃん、Mo ちゃん、K ちゃんたちの手に握られているのは絵合わせのマグネット。
実はこれ、バスの乗車券です。
芋ほり遠足当日にバス会社の方に頂いた乗車券をみんなに配ったのですが、それを思い出し、マグネットを乗車券に見立てて遊んでいました！

芋ほり遠足に行くまではバスごっこをする姿をほとんど見かけなかったのですが、遠足を経験してからは毎日のように見かけるようになりました。乗車券を配る時はちゃんと名前を呼びながら渡していて、遠足当日の保育士の姿をよく見ていたんだなぁ～と感心した程です。大人が思っている以上に子どもたちは自分の経験を遊びに活かす力、模倣するを持っているんだと改めて思いました。
限られたおもちゃの中で自分の経験を遊びにしていく想像力、応用力をこれからも育んでいけるように今後も様々な経験をさせてあげたいなと思います。

12月　かめ

朝夕は肌寒い日が増え、冬の訪れを感じられるようになってきましたね。天気の良い日にはたくさんお散歩に出かけ、どんぐりや落ち葉などの自然物にもたくさん触れましたよ！

落ち葉を踏みしめて音を楽しむ姿や、両手いっぱいに落ち葉を拾い、自分の頭やお友だちの頭にかけてあげる姿がありました。まるで落ち葉の雨みたい！

自分の箱にどんぐりや落ち葉を拾い集めています。

0歳児もバギーに乗って庄下川沿いや芝生公園にお散歩に行きました！

食欲の秋ということで“見る”“食べる”の食育を行いました！切る前の物を触ってみたり、保育士が切っている様子をじっくりと見たりしていました。

芋

柿

保育参加に来ていただきました！はじめは「あれ？」と不思議そうでしたが、とっても嬉しそうでした☆

お友だちとのやり取りを楽しむ姿も見られるようになってきました。なかなか思いが伝わらず、泣いたり叫んだりして伝えようとする場面もありますが、保育士が仲立ちしながら簡単な言葉でのやり取りに繋げていけるように関わっていきたいと思います。

☆ちいさなコックさん☆

食べることが大好きなＳくん。お部屋でお弁当作りが始まりました！

赤色は
「アッポー！」(りんご)、「とまと」
黄色は
「バナナ！」
白色は
「ごはん」
とチェーンリングを食べ物に見立てて作っていきます。

１つ目のお弁当が完成すると
２つ目に取りかかります！
２段弁当を作っているのかな？

かんせーい！
実はお友だちの分を
作っていたようです☆

「みてー！」
「Ａくんの！！」

布はどれに
しよう…

お友だちがいつも布で包んでいたのを見ていて、Ｓくんも
やってみようと思ったようです。

何度も移し変えながら、無事にお弁当を作り終えたＳくん。「みて！」と保育士に見せてくれた時の表情には“自分で作った！”という喜びや達成感を感じました。これからもイメージしたものを作る楽しさや、喜びを積み重ねながら自信に繋がっていくようＳくんの遊びを見守っていきたいと思います。

2022 年かめ　ヴィジブル

よーく見て選んでいます

10月のある日、Hくんは園庭のフェンス前に座って何かを見つめています。

取り出そうとしている物は、石です。とっても大きい石なのでフェンスから取り出すのは難しそうです。

結局、挟まったままになっていました。

また別の日

ようやく石をゲット！！！Ｈくん嬉しそうです。

1か月後…

気に入った石は、お皿に木の実と盛り付けて出来上がり～

Ｈくんの選ぶ石はこだわりがあります。
ごつごつしているもの(つるつるしたものは選びません)
握りこぶしより大きいもの(重みのあるものがいいようです)
初めは持ち歩くだけだったのが、今では石を使って遊ぶ姿も見られます。
好きなものを使って、こうしてみよう、ああしてみようと考えたり、イメージを広げたりして、遊びを楽しんでほしいなと思います。

2022　ヴィジブル　かめ